

# 日本ビジネス実務学会 会報 82 号

Bulletin of the Japan Society of Applied Business Studies, No. 82

発行日/2025年4月10日発行

編集/日本ビジネス実務学会(広報委員会)

事務局/〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内

URL: <http://www.jsabs.gr.jp/>

## 《ブロック研究会活動報告号》

会長あいさつ

「馬には乗ってみよーローカルな活動も大切にー」

会長 大島 武 (東京工芸大学)



N高やS高といった、新しいタイプの通信制高校が存在感を増していることを意識したのはほんの数年前のことのような気がします。そんな中、同じ経営母体によるZEN大学(今春開学)の志願者が3500名を超えたとのニュースが飛び込んできました。

この大学はオンデマンド型オンライン授業が主軸で、実際に大学に集まるスクーリングの縛りもなく、「パソコン一つで大学卒業資格」(Web ページより)を売りにしています。友だちを沢山作って、サークルを楽しんで、よき師と出会い、ゼミで切磋琢磨する...昭和の大学像を引きずっている私には正直なところこの現象をなるほどと素直には受け止めきれません。

勿論、優れた教材とカリキュラムにより必要な知識を効率的に学べる利点はあるでしょう。しかし、社会人の学び直しならばともかく、人生の中で学業に集中できる貴重な時期を知識の効率的取得に終始するのはもったいない気がしてなりません。高等教育の将来像を論ずる資格は私にはありませんが、この新しい提案に少なからぬ疑義を呈することをお許してください。

ところで「オンラインリアルか」の問いは、学会活動にも共通するものだと思います。去る3月1日に行われたオンラインセミナー「統計解析超入門」は大変盛況で、好評だったと伺いました。山上潤一先生の丁寧な解説と、統計の基礎や考え方を修得したいという受講者のニーズがぴったり合致して、オンラインならではの成果を挙げたと言えそうです。

一方で自分の場合に限って言えば、大会後の懇親会で他大学の先生に悩みを打ち明けたり、共同研究に誘ってもらったり、一緒に教材開発をしたり。集って、意見交換しながらの活動がこれまでの中心でした。

**馬には乗ってみよ、人には添うてみよ。**

一定時間を共に過ごしたことで相互理解も深まり、それが更に多くの学びにつながった気がします。

日本ビジネス実務学会の大きな特徴に、全国を6つのエリアに分けたブロック研究会の存在があります。オンラインでの研究会やセミナーとうまく使い分けながら、実際に集って意見交換をするローカルな研究活動もより活性化していければと願っております。

### CONTENTS

会長あいさつ .....	1
ブロック研究会活動報告	
北海道ブロック、関東・東北ブロック .....	2
中部ブロック、近畿ブロック .....	3
中国・四国ブロック、九州・沖縄ブロック .....	4
各委員会からのお知らせ・事務局からの連絡・新入会員の紹介・第44回全国大会のご案内 .....	5

## ブロック研究会活動報告

研究発表一覧の矢印(→)以降に示された番号は次の研究対象領域を示しています(詳しくは学会HPをご参照ください):【1】ビジネス実務教育 1) カリキュラム検討 2) ビジネス実務の教育プログラム開発と教材開発 3) 教育方法の研究、【2】ビジネス実務研究 1) ビジネス環境とビジネス実務 2) 人材育成と能力開発。

また、運営委員一覧は2025年3月現在のものです、◎はブロックリーダー、○はサブリーダーを示しています。

### 北海道ブロック

#### ●2024年度 北海道ブロック研究会

日時: 2025年2月16日(日)  
会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通  
のべ参加人数: 9人

#### ●研究発表一覧

なし

#### ●講演

テーマ「DX時代に求められる教育と社会への橋渡し」

講演1: 「文系大学におけるデータサイエンス教育」

講師: 三田村保氏(北海商科大学 教授)

講演2: 「DXの現状と文系学生が企業に求められること」

講師: 五十嵐誠氏(緑丘総合研究所 代表)

#### ●総括

今年度の研究会は、デジタル化社会への対応から教育の現場においてもDX教育が求められている変革期にあることから、そもそもデジタル社会やデジタル教育を取り巻く環境についてどのような動きとなっているのか、またビジネス社会ではどのようにデジタル社会に対応しているのかについて理解することを目的に研究会テーマを「DX時代に求められる教育と社会への橋渡し」と掲げ、2人のゲストを招聘しました。講演後は、参加した教員の担当授業の中でどのようにDX教育の意識づけが可能かなど盛んな意見交換の場と転じました。こうした流れから引き続き同様のテーマ内容での研究会希望があがりましました。また学生にも聴講させたいとの希望から今年度2回ほどをブロック計画に盛り込み運営していくこととなりました。一方、ブロック研究会にて研究発表が一本もない事態となりました。様々な環境変化で生じているものの、運営委員で打開策を検討し研究の活気を取り戻していきたいと思ひます。

#### ●運営委員一覧

◎千葉里美(札幌国際大学)

○和田早代(札幌国際大学短期大学部)

高橋秀幸(北海道武蔵女子短期大学)

小林純(札幌国際大学短期大学部)

### 関東・東北ブロック

#### ●2024年度(第51回) 関東・東北ブロック研究会

日時: 2025年2月15日(土)  
会場: 目白大学・目白大学短期大学部  
のべ参加人数: 25人(パネリスト3名含む)

#### ●実践事例報告

中路真紀(文京学院大学)

「高度デザイン人材の育成に向けた長期フィールドワーク実践事例報告」

→【1】の3)

町田由徳(ものづくり大学)

「40日間長期必修型インターンシップの現状と課題について」

→【1】の3)

#### ●研究発表

後藤和也(山形県立米沢女子短期大学)

「大学生の就職活動に影響を及ぼす要因—男女差に基づく探索的検討—」

→【2】の2)

佐藤恵(聖霊女子短期大学)

「女子短大生の考えるリーダー像と自己認識」

→【1】の2)

#### ●パネル・ディスカッション

「企業におけるビジネス実務教育—人材育成の取り組みと課題—」

パネリスト:

細江雄介氏(フランスベッド株式会社 人事部 人材開発室 人材開発課 課長)

坂本正樹氏(株式会社南西楽園リゾート 東京人事総務部 部長)

阿部加奈子氏(東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部 採用事務局 マネージャー)

コーディネーター: 坪井明彦(高崎経済大学)

#### ●総括

昨年に引き続き、パネル・ディスカッションは、本学会の研究対象領域のメイン領域の一つである「人材育成と能力開発」について、特に入社3年目ぐらいまでの若手人材へのOJTやoff-JTについてパネリスト各企業の取り組みをご紹介いただきました。次の全国大会でも同じテーマでパネル・ディスカッションを行います。企業におけるビジネスパーソンへの能力開発の取り組みを聴いて、将来のビジネスパーソンに対する教育のあり方について考える機会としていただければ幸いです。また、4件の研究発表・報告についても活発な質疑が交わされ、充実した研究会となりました。

#### ●運営委員一覧

◎坪井明彦(高崎経済大学)

○小松由美(目白大学短期大学部)

牛山佳菜代(目白大学)

大塚映(愛国学園大学)

加納輝尚(昭和女子大学)

上岡史郎(目白大学短期大学部)

後藤和也(山形県立米沢女子短期大学)

齋藤裕美(多摩大学)

周藤亜矢子(茨城女子短期大学)

## 中部ブロック

大須賀元彦（中京学院大学）  
川瀬真弓（岐阜大学）

### ●2024 年度ブロック研究会

日時：2025 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）  
会場：IT ビジネスプラザ武蔵（主幹校：金城大学・金城大学短期大学部）  
のべ参加人数：24 人（2 日間）

### ●研究発表一覧

大須賀元彦（中京学院大学）  
「経営学部における数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）の実践事例から見た現状と課題」  
→【1】の1)

堂野崎融（九州共立大学）  
「AI 時代のスキル変遷と簿記論教育：自動化が進む中で求められる理論的理解と応用力」  
→【2】の1)

川瀬真弓（岐阜大学）  
「デザイン思考を用いて課題解決力の向上を目指す「地域学入門」の授業設計と評価」  
→【1】の3)

荒木由希・渡邊亮士・大畑友紀（金城大学）大場新之助（金城大学短期大学部）  
「まちづくりと持続可能な参加型ホスピタルアートプロジェクト」  
→【1】の2)

### ●学生発表一覧

平出大和（愛知東邦大学経営学部 4 年）  
「ラジオサークル活動とプロジェクト科目の連携」

高橋竜也（愛知東邦大学経営学部 3 年）  
「名古屋六大学討論会」運営の現状と課題」

### ●講演

「学生起業によるアントレプレナーシップと地域貢献への展望」  
講師：荒木由希氏（金城大学総合経済学部）  
司会：坂上牧子氏（金城大学短期大学部）

### ●総括

中部ブロック研究会の対面開催も定着してきました。今研究会も、普段なかなか会えない研究者の仲間と議論を交わし、懇親会では日頃の愚痴を言い合い、「楽しくてためになる研究会」とする中部ブロックのモットーを具現した時間となりました。また、今研究会は、能登半島地震復興祈念の意味合いもあります。そうした中で、完璧な事前準備を頂いた金城大学、金城大学短期大学部の先生には、重ねて感謝申し上げます。研究発表 4 件ともに、時代の変化に即した実践的な内容の発表であり、学生発表 2 件も課外活動に積極的に取り組んだ内容の発表でした。講演は、地域の強みに気付き、それを起業化していく事例紹介であり、大変興味深い講演でした。

### ●運営委員一覧

◎河合晋（岐阜協立大学）  
○岡野大輔（金城大学）  
上野真由美（名古屋女子大学短期大学部）  
梶山亮子（千葉経済大学短期大学部）

## 近畿ブロック

### ●2024 年度（第 61 回）近畿ブロック研究会

日時：2025 年 2 月 16 日（日）  
会場：三上 plus02 新大阪西中島南方

### ●研究発表一覧

吉川正剛（大手前大学）  
「人生・キャリアの分かれ道図（仮称）活用の可能性」  
→【1】の3)

### ●研修会

「AI 時代の色々なサービス紹介：Peatix と LLM が拓く可能性」  
講師：高松邦彦氏（東京科学大学 マネジメント教授）

### ●その他の活動報告：助成研究報告

（最終報告）  
樋口勝一（甲子園大学）・苺野正美（近畿大学）  
「Chat GPT による秘書技能検定問題の回答について統計的分析」

（中間報告）  
松本清（東京科学大学）・高松邦彦（東京科学大学）  
「同一組織内関係者間の調整における課題解決のための社会心理学的アプローチ」

### ●総括

近畿ブロックとしては、昨年引き続き対面での開催となりました。研究発表では、ビジネス実務研究分野の 1 件の発表でした。大学生の転機に焦点を当て、複線径路等至性モデル (TEM) を使用した研究であり、非常に興味深い内容でした。また、研修会では、AI 時代にふさわしいテーマ「LLM」により、実際に Peatix、ChatGPT を使いながら、日々の研究にどのように役立てるかなどの知識や技法の講義をして頂き、活発な意見交換となる内容でした。

### ●運営委員一覧

◎岩井貴美（近畿大学）  
○湯口恭子（近畿大学）  
福井就（大手前学園）  
坂本理郎（大手前大学）  
高松邦彦（東京科学大学）  
樋口勝一（甲子園大学）

## 中国・四国ブロック

### ●2024年度（第41回）中国・四国ブロック研究会

日時：2024年8月24日（土）・25日（日）  
会場：中国学園大学

#### ●研究発表一覧

福本章（大阪成蹊大学）

「ビジネス実務教育における社会的考察—芸術系大学の事例を踏まえ人的資本理論を中心にして—」  
→【1】の3)

合田美稀（せとうち観光専門職短期大学）録画発表  
「観光系高等教育機関での観光人材育成に求められる視点—観光産業新入社員への半構造化インタビュー調査を用いて—」  
→【1】の3)

金岡敬子（山陽女子短期大学）  
「コロナ後の就職活動の変化についての—考察—大学生と企業の視点から—」  
→【1】の1)

佐々木公之（中国学園大学）  
「PBLで久米南町の地域活性化に取り組んでの効果検証」  
→【1】の3)

#### ●PBL研修会

PBL実践事例「YouTubeを活用して多言語での岡山市と周辺地域の魅力発信」イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの体験  
協力：おかやま観光コンベンション協会  
詳細についてはブロック会報・第38号をご覧ください。

#### ●その他の活動報告

同日に第19回学生プレゼンテーション大会  
山陽女子短期大学2名、中国学園大学1名、中国学園大学1名、の合計4名の学生が参加。  
詳細についてはブロック会報・第38号をご覧ください。

#### ●総括

中国・四国ブロック研究会を中国学園大学で開催しました。今回は、研究発表も4件あり、先生方の活発な意見交換の場になりました。今回、はじめての試みとして、毎年行われていた招待講演に代わり、PBL研修会を開催しました。学生プレゼンテーション大会においては、岡山、広島から学生が参加し、学生同士の交流も盛んにおこなわれていました。また、学生プレゼンはこのブロック研究会の特筆イベントともなっていますが、これは従来通り、素晴らしいパフォーマンスを得ることができました。

#### ●運営委員一覧

- ◎金岡敬子（山陽女子短期大学）
- 立花知香（安田女子短期大学）
- 堀口誠信（徳島文理大学短期大学部）
- 名和晋也（鳥取短期大学）
- 片山友子（四国大学短期大学部）
- 吉田順子（広島女学院大学）

## 九州・沖縄ブロック

### ●2024年度（第67回）九州・沖縄ブロック研究会

日時：2025年2月15日（土）13:00～16:30  
会場：Zoomによる遠隔方式

#### ●研究発表一覧

井上奈美子（福岡県立大学）

「大学生が抱く将来のライフキャリアイメージとキャリア教育の課題」→【1】の3)

石橋慶一（中村学園大学短期大学部）

「キャリア開発学科の編入学における簿記会計系科目の接続に関する現状と課題」→【1】の1)

見館好隆（北九州市立大学）

「越境学習が大学生のキャリア形成に寄与する可能性の検討—タイ・カンボジア・奈良県スタディツアーの事例を用いて—」→【1】の3)

#### ●基調講演&質疑応答

「人を巻き込み、未来を創る：JR九州ホテルズ&リゾートの挑戦と展望」

講師：JR九州ホテルズアンドリゾート株式会社  
代表取締役社長 角谷英彦氏

#### ●振り返り

参加人数は17名（運営委員含む）。アンケート結果は以下（n=12、5とても満足～4やや満足～3普通～2やや不満～1とても不満）。

【研究発表】4.82

【基調講演】4.92

【感想】「質問や討議がしやすい雰囲気が良かった」「資料の共有がありがたかった」「実際のホテル業界の話が聞けて満足でした」「角谷社長の講演は九州の観光が抱える課題解決の光明として、学生に是非聴かせたい内容だった」という意見があった。

#### ●運営委員一覧

- ◎見館好隆（北九州市立大学）
- 石橋 慶一（中村学園大学短期大学部）
- 井上 奈美子（福岡県立大学）
- 大重 康雄（志学館大学）
- 武村 順子（宮崎学園短期大学）
- 徳永 彩子（熊本学園大学）
- 藤村 やよい（日本秘書協会）
- 柳田 健太（近畿大学）

## 各委員会からのお知らせ・事務局からの連絡

### ■総務・企画委員会

委員長 河合晋（岐阜協立大学）

本学会の「ビジネス実務研究助成」は、今年度、共同研究（A）及び個人研究（B）ともに採択がありませんでした。この助成は、若手の先生方や実務家から転身して日が浅い先生方のスタートアップ支援が主な目的です。会員各位におかれましては、ご自身の応募はもとより、周りの先生に応募を薦めていただきまして、学会研究の活性化を図りたいと存じます。ご協力をお願いいたします。

### ■研究推進委員会

委員長 小松由美（目白大学短期大学部）

2024年6月8日、9日の全国大会（中国・四国ブロック主催：安田女子大学・安田女子短期大学）では20件の研究発表が行われ、懇親会に代わる「情報交換会」も盛会でした。2025年度の全国大会も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2025年3月1日に開催したオンラインセミナー「統計解析超入門」（参加者25名）は、講師の山上潤一先生の大変わかりやすいご説明と参加者との活発なやり取りで、3時間という長さを感じない、大変満足度の高い講座となりました。

学会の活性化と会員の研究促進に寄与できることを今後さらに検討してまいります。

### ■編集委員会

委員長 手嶋慎介（愛知東邦大学）

『ビジネス実務論集 No. 43』への投稿は13編、審査通過は7編でした。最終的には研究ノート2編、資料4編（うち理論・調査研究4編、教育開発研究2編）の計6編となりました。前年より投稿数がやや少なかったものの、J-STAGEへの掲載は今号を合わせると16編となります。現在、次号に向けて「ビジネス実務論集規程」および「ビジネス実務論集執筆要領」の改定の準備を進めていますが、投稿募集については2025年度も今号同様のスケジュールで行います。多数の投稿をよろしくお願いいたします。

### ■広報委員会

委員長 坂本理郎（大手前大学）

学会報81号を、予定通り2024年9月に発行し、次の82号（本号）を2025年4月に発行しました。また、ドメインを更新した学会ウェブサイトは順調に稼働しています。管理・運営業務を専門業者に委託することで、スピーディーな情報発信も実現しています。

今後も、ウェブサイトに掲載されたい事項がございましたら、所属ブロックのリーダーを通じて、広報委員会までご依頼ください！

### ■事務局

事務局長 加納輝尚（昭和女子大学）

所属、郵送先住所、会員種別、登録メールアドレスに変更があった場合、または退会ご希望の場合は、学会事務（business.jitumu@gmail.com）までご連絡してください。円滑な事務局運営にご協力をお願いいたします。

## 新入会員の紹介（2024年7月～2025年2月）

### ■正会員

（氏名・敬称略）	（所属先）	（所属ブロック）
山口真弘	（株）毎日新聞社	関東・東北
後藤誠一	岐阜大学	中部
三井栄	岐阜大学	中部
寿マリコ	池坊短期大学	近畿
桃井克将	京都女子大学	近畿
松本亮	税理士法人日本経営	近畿

## 第44回（2025年度）全国大会のご案内

### ■関東・東北ブロック主催

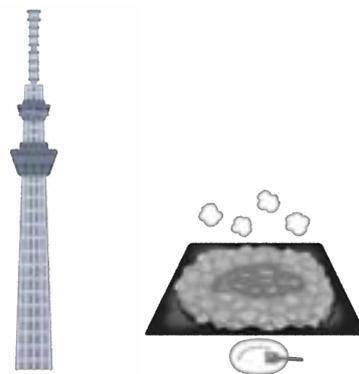
■統一テーマ：企業におけるビジネス実務教育 一人材育成の取り組みと課題ー

■会場：目白大学・目白大学短期大学部

■日時：2025年5月31日（土）～6月1日（日）

実行委員長：坪井明彦（高崎経済大学）

事務局長：上岡史郎（目白大学短期大学部）



詳細については、第44回全国大会・第1号通信または学会HPをご覧ください。

## 日本ビジネス実務学会会報 No. 82

日本ビジネス実務学会・広報委員会

（坂本理郎・後藤和也・岩井貴美・福井就・堀口誠信・名和晋也）

広報委員長（坂本） e-mail: riro-s@otemae.ac.jp

JSABs  
Japan Society of Applied Business Studies